

## 令和4年度事業報告書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

### 1 事業の報告と成果

感染症対応が日常化した中での活動の年だった。「御坂の家」は年度後半からは観光需要が増したこともあり稼働率は回復している。「宮坂町の家」は地域・家庭になくってはならない場づくりと活動を進めている。

「備中町並みネットワーク」に参加し9回目になる「町家deクラス」事業ではまち歩きを中心にプログラムを作り好評だった。

高梁川流域連携事業で実施した浅口市金光町大谷地区建築物残存調査は地元へのノウハウ移転が進み、滞りなく調査を終えることができた。3年間に調査した各市とも報告会へ市長が参加し前向きな発言があり地域の活動を後押しする機会になったことは大きな成果である。

倉敷シティキャンパスプロジェクトをノートルダム清心女子大学と連携、いくつかの拠点整備に関わり、くらしきづくりマップが完成した。

FMくらしきと市内企業の協賛を得て昨年に引き続き高校生トークセッションでは10校の参加で各高等学校の活動と考える良い機会が提供できた。

官民連携まちなか再生推進事業の初年度は「くらし・き・になるミーティング」を3度開催、年度末に講演会を開き、多様な関係者が集まり、2023年のプラットフォーム設立に向けてスタートできた。拠点として使用する長屋の漆喰塗りや床張りのワークショップも実施した。

#### 1) 組織の認知と組織への参加促進

- ・ホームページをリニューアルした。ブログ、facebook、など情報発信・メールマガジン・メディアでの発信
- ・フォーラム、シンポジウムのパネリスト参加、各種まちづくり委員会委員への参加

#### 2) まちづくり活動の企画、協力、連携、提言、講演会など

- ・備中町並みネットワーク主催の「町家deクラス2021」企画構成、事務局担当
- ・まち歩きなどの企画・各種フォーラム、講演会、協議会に参加し、発表
- ・浅口市金光町大谷地区歴史的建築物残存調査支援
- ・H U L連続シンポジウム開催支援と参加
- ・教育機関からの講師依頼（倉商、倉敷南、倉敷高校、倉敷青陵高等学校、倉敷中央高等学校、倉敷芸科大、岡大大学院など）
- ・倉敷シティキャンパスプロジェクト、教育機関との連携（ノートルダム清心女子大学・就実大学）
- ・インターンの受け入れ（山陽学園大学、岡山県立大学）
- ・高校生トークセッション（FMくらしき、高梁川流域学校との共催）
- ・官民連携まちなか再生推進事業では倉敷美観地区及び周辺地区未来ビジョン検討委員会に参加事務局を担当
- ・全国町並み保存連盟新潟大会：分科会コメンテーター、各地からの報告で発表

#### 3) 地域資産の活用

- ・宮坂町の家（こども支援拠点）
- ・再生町家を事務所活用・交流事業（倉敷市東町1-21、8月末まで）
- ・「御坂の家」事業継続

- ・トワイライトホーム支援
  - ・東町長屋の入居者支援
  - ・新事務所（本町11-18）改修、9月より入居
  - ・その他町家利活用相談多数
- 4）各種団体の取材の受け入れ
- 5）各種団体への参加
- ・備中町並みネットワーク
  - ・中心市街地活性化協議会
  - ・岡山NPOセンター
  - ・倉敷東学区社会福祉協議会
  - ・全国まち並み保存連盟（新潟大会）
  - ・高梁川流域学校
  - ・井上家住宅公開準備会
  - ・その他
- 6）事務局・毎週火～日曜日開所（9：00～17：00）  
9月より倉敷市本町11-18に移転
- ＊総会：5月28日
- ＊理事会：令和4年4月1日、5月6日、6月3日、7月8日、8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、令和5年1月6日、2月3日、3月3日

●利活用

- ・倉敷町家トラスト事務所の利活用（毎月第1金曜日定例理事会、東町町内会役員会、だがしわ、ノートルダム清心女子大学、各種NPO、市民団体の会議、勉強会、8月末まで）
- ・宮坂町の家（一般社団法人子ども支援センターつばさ）
- ・新事務所改装、9月入居（坂を登るので利活用し難くなった）

●会員数(令和5年3月31日現在：201人、26社)

（内訳：正会員34人、法人賛助会員26社、賛助会員48人、準会員119人）

●御坂の家運営

- ・利用日数 120日（宿泊滞在116日、見学会4日）
- ・利用人数 310名以上（滞在251名、見学他60名以上）

●委員・全国町並み保存連盟常任理事（代表理事）

- ・備中町並みネットワーク代表（代表理事）事務局長（副代表理事）
- ・倉敷東社会福祉協議会事務局長（代表理事）
- ・岡山県立水島工業高等学校学校評議員（代表理事）
- ・倉敷の自然を守る会監査（代表理事）など
- ・高梁川流域学校副代表理事（代表理事）
- ・倉敷美観地区及び周辺地区未来ビジョン検討委員会代表（代表理事）
- ・G7倉敷労働雇用大臣会合推進協議会委員（代表理事）

●取材、新聞雑誌掲載

- ＊ラジオ：FMくらしき、RSKラジオ
- ＊新聞：山陽新聞、読売新聞、毎日新聞その他
- ＊雑誌他、町並みかわら版

2 事業の実施に関する事項

その他、講演会、日常的なパネル展示、チラシ配布、など

1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲及び 人数	支出額 (千円)
町家再生・利活用促進事業						
	町家利活用事業	通年	倉敷市東町1-21 本町11-18	15名	理事、会員、市民、来街者延べ800名以上	360
調査研究・情報収集及び提供						
	HP作成管理及びメルマガジン発信など	通年	倉敷市東町1-21	3名	情報を受け取ることができる市民の不特定多数	10
まちづくり推進のための人材育成						
	町家講座、ワークショップ	1月22～26日 3月11～21日 など	事務所、高等学校、大学など	8名	市民70名、学生230名	628
その他第3条の目的を達成するための事業						
	町家deクラス2021	11月3日～27日	倉敷市本町11-18、岡山県備中地域	7名	市民600名以上	40
	再生町家賃貸事業	4月1日～令和4年3月31日	倉敷市本町11-16東町1-24.25など	10名	理事・会員・市民・来街者多数	4,389

その他、講演会、チラシ配布、など

